



Ts

2

コロちゃんファンクラブ

— STUDIO KFC —

NEGIBOUZU COMICS

TS2

平凡な朝の通学風景
まさか
誰も思わない
でしょう

あたしが
パイプを
入れたまま
通学している
なんて

つけて
きたか？

はい…

よし……
こつち来い
ハメてやる

はい…

カオキ……

風邪か？

ん……
パイプ……

オラ
もつと腰使えよっ
授業
始まつちまうぞ

はんっ……
はい……

体育教師の
Y先生……
あたしは
この人の命令に
逆らえません

ちやぶっ

よく撮れてるだろう？

その日……見せられたのは湖戸さんとあたしがエッチしていた映像でした

どうする？これを全校にバラまくか……それとも……

あの日のコト——盗撮されていたんです

その場であたしは先生に抱かれましたそれしかなかったから……

そしてそれが悪夢の始まりでした時間が空けば呼び出される毎日……

校舎内でも人気がないと見ればスカートまくられてオチンチンを入られてしまいます



「下着をつけずに
学校へ来い」
なんて……

コトコト

コトコト
ハハ

そんなことしたら
痴漢たちに
目をつけられて
しまうに
決まっています
でも
逆らえないんです



痴漢の手は
遠慮なしに
全身を
まさぐってきます



執拗な愛撫に
感じてしまわないように
ぐっとガマンします
せめてもの
抵抗です

挿入してくる
大胆な
痴漢もいます



犯されてる
あたし……

知らない
オジサン
に……!

電車の揺れに合わせた
ゆっくりとした
グラインドに
漏れてしまいそうになる声を
必死に押さえながら
駅に着くのを待ちます

到着ギリギリまで
カラダを弄ばれ
ふらふらに
なりながら
電車を降ります

ふら

かたさね
2ND...

そうして
学校に着いたら
今度は
先生におまんこを
調べられます

.....





今日も
たつぷり
痴漢されてきた
みたいだな

……

アッ

アッ
アッ

アッ



とろけ具合で
すぐ
わかるぜ

アッ
アッ

アッ
アッ

おっ

瀬戸の粗チンと
どっちが
いいんだハッキリ
言ってみろっ

イヤじゃねーんだ
正直に
言ってみろっ

先生の
お尻

ムキムキ

お尻

い

お尻





お前ただけだぞ

.....

こんな
恥ずかしい格好で
マンコ濡らす
変態女は

あゝ..

ひい
か
い

こんな
辱めにも
耐えなければ
いけません

先生の
命令は絶対です

いい格好だな
伊織

恥ずかしく
ないのか？

あゝ..

あゝ..

あゝ..

あゝ..

深夜の校舎
首輪をつけられ
犬のように
連れ回されます

オラッ
きびきび歩けよ
メス犬っ

グチャヨ濡れ
じやねーか
ど変態が
つか

誰かに見られたらという
恐怖感と
恥ずかしさで
トロトロになった
私のおまんこを押し拡げて
先生の太いオチンポが
入ってきます

オラッ

わ……

わんっ……♡

なんか最近
教室が
イカ臭くね？

わかるわかる
誰だよ
教室で
出してる奴w

恥ずかしいのに
イヤなのに……

最初は苦しいだけだった
先生のサイズに
どんどん慣れてきてるのが
自分でもわかります

お前の好きな
チンポだぞっ
嬉しいかっ

「瀬戸の粗チンじゃ
満足できなくなるぞw」
なんて先生の軽口が
本当にならないことを
祈るばかりです……

T^{RY}S 2.5



この路線には
痴漢が多い



沿線の
女子生徒は皆
その被害に遭っている
といっても
過言ではない



あつ...



あつ...

今日の
チカン...



...

あつ...



調子に乗ってんじや
ないわよ.....って

ええっ!?



この固くて熱い物体は……

もしかか……
もしかかして……

はい



お……ち……

お……ち……



お……ち……



……

いい加減に
しないとっ

大きな声
出しますよっ……!



お……ち……

お……ち……





ガツチリホールド
されてる……っ



イキそうなんだろう？
イッていいぞ
ほれほれッ



……っ



逃げらんないっ……っ

イク……っ



あ……っ
ヤバイ……っ



イッちやう……っ！



イカされちやう……っ
痴漢なんか……っ！



イツちやつた……

チカラ……入んない

おんこ

あ……この感触……

挿れられ……

掴まっつて立ってるのがやっど……

おんこ……

ズン

おんこ……

ちやつ……

太っ腹の……
入ってきたの……

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

電車の中なのに
あたし……っ

知らないオジサンと
Hしちゃってる……っ……!!

チカンは私の
大事な所を使って
自分勝手に
オチンチンを
しごきます

私はずっと
されるがまま...

声が漏れないように
するだけで
精一杯です



つぎは
薄田
薄田

征服された証を
オシリで
受け止めながら
二度目の絶頂

私の通学は
毎朝
こんなカンジです

コロちゃんファンクラブ
ネギボウズ・コミックス